

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策 I-1-3 新産業・新事業の創出
---------	---------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	産業振興課長 馬庭 正人	電話番号	0852--22-5291
----------	--------------	------	---------------

事務事業の名称	新産業創出プロジェクトフォローアップ		
目的	(1) 対象	主に県内製造企業、県内食品関連企業、県内デジタルコンテンツ制作企業などの県内企業を対象とする	
	(2) 意図	新産業創出プロジェクトで実施した5プロジェクトのそれぞれについて、関連企業を核にした事業化を進める。	
事業概要	新産業創出プロジェクト(H15~24)で実施した以下の5つのプロジェクトのそれぞれについて、市場開拓、付加価値向上などの事業化に向けたフォローアップを実施する。 ①熱制御システム開発プロジェクト ②新エネルギー応用製品開発プロジェクト ③機能性食品産業化プロジェクト ④ICT技術開発プロジェクトフォローアップ ⑤プラズマ熱処理技術開発プロジェクトフォローアップ		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	関連企業へのフォローアップにより事業化が達成されたプロジェクト（テーマ）数（平成25年度からの累計）	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
	式・定義	現在抱えている課題を解決し、事業化を達成したプロジェクト（テーマ）数（平成25年度からの累計）	目標値		0.00	0.00	1.00	5.00	テーマ
			実績値	0.00	0.00	0.00	1.00		
	達成率			0.00	0.00	100.00		%	
指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
式・定義		目標値		0.00	0.00				
		実績値	0.00	0.00	0.00				
		達成率		0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	23,453	21,343
うち一般財源(千円)	23,453	21,343

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・「新産業創出プロジェクト」で技術移転をしたテーマのうち、事業化一歩手前のものがあり、製品の実証支援や販路支援などのフォローアップの取組みを実施している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

新しい事業化の取組みが始まり、今年度及び来年度の実証試験により、成果が期待できる

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
技術移転は完了しているが、事業化の速度が遅い案件がある
- ②困っている状況が発生している「原因」
技術移転先企業における技術開発以外の要素（経営方針、共同で製品化を行っている他の企業の進捗が遅い）により事業化が遅れている
- ③原因を解消するための「課題」
事業化への動きが促進されるような技術支援、販路支援などが必要

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

事業化一歩手前のものがあり、引き続き製品の実証支援や販路支援などのフォローアップの取組みを実施

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）